

第3回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

1 日 時 平成30年8月22日（水曜日） 18時30分から20時30分

2 場 所 本庁舎 1階会議室

3 出席者 （委員）

石川かず子、井上祐輔、香取幸子、小山裕紀子、中沢清、豆田和子
（事務局）

栗原康弘（地域課地域係長）、堂垣祐介（地域課地域係主任）
（欠席者）

小松揚明、田中幸男

4 議 題 1 協働事業ガイドラインについて
2 産業まつりについて
3 協働フォーラム2019について
4 その他

5 配布資料 1 次第
2 協働事業ガイドライン（案）
3 協働事業ガイドライン修正一覧
4 産業まつりレイアウト（案）
5 協働フォーラムについて
6 第2回作業部会議事録
7 協働チラシ

6 開会
香取委員長

7 議題1 協働事業ガイドラインについて

資料の確認及び説明（資料1, 2）

前回委員会で出た意見を反映させ、修正を行った。再度確認いただき、意見をいただきたい。

- ・P7 フローチャートについて、最後まで矢印をつけて下におろしていったほうが良い
- ・P16 協働事業紹介③について、横田交流会も関わっています。バスケットボール連盟と交流会と行政との協働になっているので、交流会を加える。
- ・P12 行政支援の一例について、財政的支援を行わないと言い切る記載があるが、申請する側としては現段階では支援ができなくても将来的にできるようになる可能性があるのであれば、財政支援を受けられるようになるという期待があったほうが良いと思う。書き方の問題である。波線で強調すると、やろうと思っている方が引い

てしまうのではないかと思う。逆に、財政支援はできないけれど、その他のバックアップはやります、というようなニュアンスのほうがいいのかもかもしれない。

- ・P14 協働事業紹介①について、自然科学同好会と郷土資料館学芸員の方にも協力いただきながら活動しているので追加してほしい。また、協力団体として西多摩マウンテンバイク友の会を入れていただきたい。
- ・P5 協働の基本原則について、これを見ただけではわかりづらい。噛み砕いた説明があれば理解できるかもしれないが、住民が初見で理解できないと思う。基本原則を見て、すぐ後に具体例があると非常にわかりやすいと思う。全体の構成を変える必要があるのではないか。基本原則の後に協働宣言があるが、協働宣言を最初もしくは最後にもっていき、基本原則の直後にフローチャートがあったほうが流れとしてわかりやすいと思う。協働宣言はガイドラインとは少し違うと思うので、最も目に付きやすいところでいいのではないか。
- ・第1章と第2章で、一般的な協働に関する説明と瑞穂町における現状や協働に関することが混ざり合っているので、整理したほうがわかりやすい。一般的な説明をした後に、瑞穂町に関することを並べたほうが良いのか、その逆にするのかは検討が必要になる。全体の流れを意識したほうが読み手の事を考えたガイドラインになると思う。

議題2 産業まつりについて

- ・パネル展示は中沢副委員長、井上委員、事務局が担当。
- ・役割分担は次回委員会時に決定する。
- ・各団体のチラシも配布予定。協働チラシにはフォーラムの告知を入れた形で修正を加え配布する。
- ・展示パネルの内容によって、レイアウトは決まってくるので、次回委員会までにある程度どのようなものを展示するかを作成してくる。パネルの寸法等は事前に知らせてほしい。
- ・事務局には協働の過程、または一般的な流れを紹介してほしい。具体例や完成した協働事業を見せるのは委員が活動事例として紹介し、事務局は協働につながるまでの道筋を示して、見てわかるようにする。
- ・産業まつりはフォーラムに向けてコンパクトにやって、メインとなるのはフォーラムになるので、そこにつなげるために周知を行う。
- ・協働というテーマは堅いイメージで人が集まりにくいと思うので、簡単な工作や折り紙コーナーなどを設けて、子どもたちが興味を引くようなブースにして、それをパネル出さない委員で担当することで協力ができると思います。他にもノコギリの体験コーナーを設けたりすると集客アップにつながると思います。

議題3 協働フォーラム2019について

- ・フォーラムの候補日は平成31年3月3日が第一候補、2月24日が第二候補。事務局はけやき館に他のイベントがないか確認を行う。時間は1時間30分でタイムスケジュールを組んでみる。
- ・フォーラムの流れは、小松委員と事務局と一緒に発表、その後中沢副委員長、井上委員という三つの講演を行う。
- ・ブース出展するかどうかは各々次回までに考えてきてもらう。

議題4 その他

次回委員会は10月22日18時30分から、本庁舎1階会議室で開催予定。